

東京駅のすぐそばで、神戸の知を学ぶ。

# 2017 甲南大学 秋期公開講座・研究会の ご案内

Konan University



## 1 秋期公開講座 「女性脳」と「男性脳」を科学する —スムーズな人間関係のために—

講師：前田 多章(甲南大学 知能情報学部 准教授)

11月4日(土) 14:00~15:30 募集人員/35名(先着順)  
懇親会(自由参加)/15:30~16:30 受講料 /1,000円

女性の脳と男性の脳は構造も働きも異なります。そのことで、私達は、家庭、学校、そして会社などの人間関係で、意見のすれ違いや理不尽な思いをすることがあります。また、子育てや職場の社員教育などでも、性が違うことで多くの戸惑いを感じてしまいます。

本講座では、女性の脳と男性の脳の違いを解説し、どうして女性と男性が異なった考え方や行動をとるのかを解説します。そして「女と男の問題」の解決方法を脳科学の立場から提案します。

詳しくは裏面をご覧ください→

## 3 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 第32回研究会 スイーツなマーケティング論 —神戸風月堂と小磯良平：神戸エレガンスの本質とは—

講師：日崎 隆広 氏(株式会社神戸風月堂 社長室 執行役員)  
講師：荒木 武文 氏(神戸市立小磯記念美術館 事務室長)  
ファシリテーター・司会：西村 順二(甲南大学 ビジネス・イノベーション研究所 所長)

11月16日(木) 15:30~17:00 募集人員/35名(先着順)  
懇親会(自由参加)/17:00~18:00 受講料 /1,000円

神戸は洋菓子の街として有名ですが、それは「ハイカラ神戸」や「阪神間モダニズム」と呼ばれるように、港町・神戸が、明治後期・昭和初期の日本における洋風文化流入のさきがけになったことに起因します。本研究会では、1927(昭和2)年にフランス菓子をヒントに洋と和の融合から神戸スイーツを代表するゴフルを開発されるなど、日本・神戸の近代文明化に洋菓子産業として関わってこられた神戸風月堂の日崎執行役員にお越しいただき、神戸ゆかりの小磯良平に因んだ神戸市立小磯記念美術館とのコラボ企画として、神戸の街が様々な場面で洋風文化を受け入れ、そしてそれを神戸風に醸成していった息吹を皆さんと感じたいと思います。

詳しくは裏面をご覧ください→

## 2 秋期公開講座 日本の国債相場を支えているものは何か —国債の現況から考える国家財政—

講師：中島 将隆(甲南大学 名誉教授)

11月11日(土) 14:00~15:30 募集人員/35名(先着順)  
懇親会(自由参加)/15:30~16:30 受講料 /1,000円

これまで繰り返し国債の危機が叫ばれてきました。振り返ってみると過去20年間、国の収入のほぼ4割が国債で調達され、その結果、日本の政府債務残高は世界最悪に。国債危機が叫ばれるのは当然のことです。ところが、現実の展開をみると、国債危機は生じていません。国債市場は活況を呈し、市場では「国債品不足」が続いています。国債金利も一貫して低下し、今日ではゼロ金利、マイナス金利の国債も登場してきました。このため、政府も金融機関も国債増発に対する危機意識が全くありません。なぜ、国債相場は安定しているのでしょうか。なぜ、国債増発が続くのでしょうか。本当に日本の国債は大丈夫なのでしょうか。

詳しくは裏面をご覧ください→

## 4 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 第33回研究会 グローバル大競争時代における日本企業の経営 —第4次産業革命とコアコンピタンスへの戦略対応—

講師：小泉 慎一氏(元・東レ株式会社 副社長、現・株式会社DeNA 常勤監査役)  
講師：杉田 俊明(甲南大学 経営学部 教授)

12月1日(金) 14:00~16:30 募集人員/25名(先着順)  
受講料 /1,000円

グローバル大競争、そして第4次産業革命が進行する大変革時代において、日本企業はどのような課題に直面し、どのように対応すべきでしょうか？本研究会の前半では、東レで海外事業全般担当の副社長、そして経団連会長特別アドバイザー、複数の日本企業での社外取締役も歴任する小泉慎一氏が知見を披露します。

後半は、長年に渡って世界各地で調査研究を行っている本学経営学部・杉田俊明教授が実例を解説しながら、前半・後半を通して皆さまと質疑討議を行い、日本企業の対応について検討します。

詳しくは裏面をご覧ください→

受講のお申込みは、裏面の「受講申込書」をご利用下さい。

会場：甲南大学ネットワークキャンパス東京

甲南 東京  検索

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー10F TEL/03-6266-9520